

令和元年7月8日  
国土交通省中部地方整備局  
名四国道事務所

## — 記者発表資料 —



# 国道153号 豊田北バイパス ひらとおおはし (平戸大橋区間) 開通後の交通状況 ～開通区間の利用により移動時間が短縮～

## 1. 概要

令和元年6月8日(土)に開通した国道153号豊田北バイパス(平戸大橋区間)について、開通後の交通状況をとりましたので、お知らせします。

### ◇開通後の交通状況

- ・開通区間の交通量は、昼間12時間<sup>\*</sup>あたり約3,400台(開通10日後)
- ・平成記念橋北交差点から豊田勘八ICまでの所要時間は約5割短縮
- ・並行する国道153号(平戸橋)で渋滞が約5割減少
- ・豊田北バイパス(平戸大橋区間)は、更なる交通の転換が可能

(※昼間12時間：7時～19時)

## 2. 資料

- ・別紙1：開通区間の交通状況(速報)
- ・別紙2：開通効果 移動時間の短縮
- ・別紙3：開通後の課題 現道の渋滞状況

### 記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 TEL：052-823-7911(代表)  
副所長 たなか しんじ 田中 慎次 計画課長 やぐち けんじ 矢口 謙史



開通効果

# 移動時間の短縮

● 豊田北バイパス(平戸大橋区間)と(都)平戸橋土橋線を併せて利用することで、平成記念橋北交差点から豊田勘八ICの所要時間は約6分短縮(バイパスルート)。

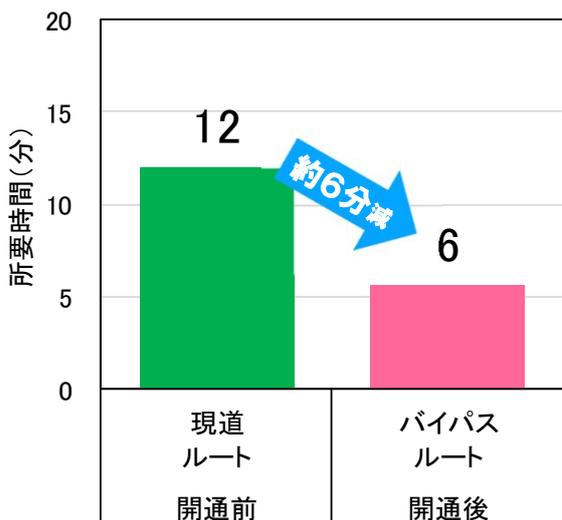
## 豊田北バイパス (平戸大橋区間) 開通による効果



※開通前：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）より算出

開通後：ETC2.0プローブデータ R1.6.10~18(平日7日間)より算出

### ■ 平成記念橋北交差点～豊田勘八IC間の移動時間



### ■ 平戸大橋周辺の交通状況



